

1. 位置図



田町、海隣寺町、並木町、宮小路町、鑄木町、新町、裏新町、中尾余町、最上町、弥勒町、野狐台町、鍋山町、本町、樹木町、将門町、大蛇町、藤沢町、栄町、城内町、鑄木町1～2丁目、千成1～3丁目、大佐倉、大佐倉干拓、飯田、飯田干拓、岩名、萩山新田、萩山新田干拓、土浮、土浮干拓、飯野、飯野干拓、飯野町、下根、山崎、下根町、鹿島干拓、上代、高岡、宮前1～3丁目、飯田台、白銀1～5丁目、鑄木仲田町

2. 地区の概況

【位置】
市の北東に位置し、東は酒々井町に隣接する。北は印旛沼水系の西部調整池と中央排水路が印西市との市境を成す。印旛沼西部調整池に注ぐ鹿島川と高崎川が地区境界となっている。

【地形・地勢】
地区南部は、なだらかな台地が広がり旧成田街道の交通の要衝にあり、江戸末期まで佐倉藩の城下町として栄えた。現在も市の中心部にあたり、京成電鉄の佐倉駅周辺に市役所をはじめとする行政機関・業務施設・商業施設が集まっている。また、佐倉城跡より東側一帯は、城下町の面影を色濃く残す武家屋敷や歴史的街並みが今も見られる。市街地より東及び北に昭和中～後期に建設された住宅団地（宮前・千成・白銀等）が立地する。
京成電鉄以北から地区北部は、台地縁辺部とこれを樹枝状に入り組む水田からなり、さらに、印旛沼開拓事業による広大な干拓地が帯状に分布する。台地に昔ながらの農村集落が点在し、水田耕作や園芸作物等の農業が営まれている。

【交通】
地区の中央を東西に京成本線が横断する。地区内に京成電鉄の佐倉駅、大佐倉駅があり、1日乗降人員はそれぞれ19,191人、423人である。また、地区南部を国道296号が通過する。

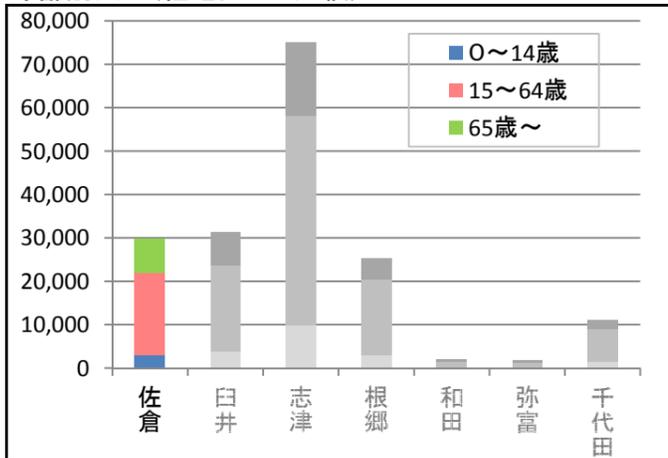
【人口・建物】
地区面積は、7地区中で1番大きく、人口密度は市平均より低い。年齢別の人口分布は市全体と同様である。地区内の老年人口（65歳以上の人口）の割合は26.5%で、市平均23.0%を上回っており、老年人口の割合が大きい地区である。
建物の構造分布は、市全体と同様である。地区内の新耐震基準以前の建物の割合は35%で、市平均28%を上回っており、建物の老朽化が進んでいる。

3. 人口指標

※平成23年12月末時点

	地区内	市全域
0歳～14歳	3,076人 (14%)	21,643人
15歳～64歳	18,816人 (16%)	114,059人
65歳～	7,885人 (19%)	40,486人
人口合計	29,777人 (16%)	176,188人
世帯数	12,697世帯 (17%)	71,464世帯
人口密度	1,422人/km ²	1,701人/km ²

年齢別人口(他地区との比較)

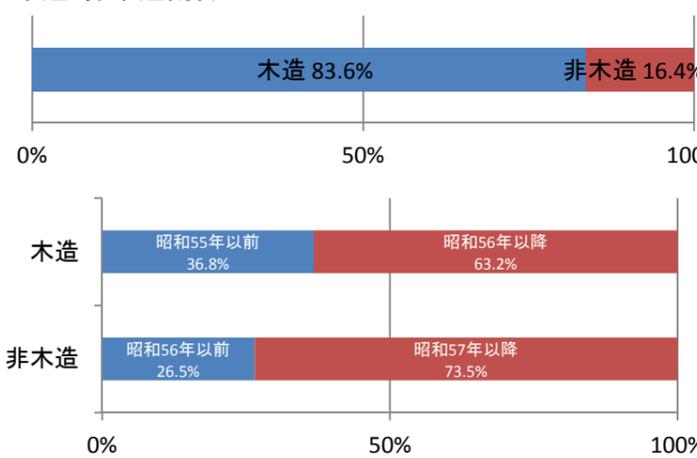


4. 建物指標

※平成24年1月末時点

構造	建築年	地区内	市全域
木造	～昭和55年	3,171棟 (21%)	14,467棟
	昭和56～	5,447棟 (16%)	33,376棟
非木造	～昭和56年	447棟 (20%)	2,175棟
	昭和57～	1,241棟 (14%)	8,416棟
合計		10,306棟 (17%)	58,434棟
老朽建物割合		35%	28%

木造・非木造割合



5. 避難施設

種類	施設名称	屋外面積 (m ²)	屋外収容可能人員	屋内面積 (m ²)	屋内収容可能人員
広域避難場所・避難所	佐倉市立佐倉小学校	8,750	2,917	3,416	859
	佐倉市立佐倉東小学校	6,661	2,220	1,968	487
	佐倉市立内郷小学校	10,223	3,408	1,510	375
	佐倉市立佐倉中学校	15,726	5,242	4,030	1,010
	佐倉市立佐倉東中学校	13,932	4,644	2,854	714
	佐倉市立白銀小学校	10,922	3,641	1,813	457
	千葉県立佐倉高等学校	27,507	9,169	4,718	1,180
	千葉県立佐倉東高等学校	15,722	5,241	4,108	1,027

6. 支部(地区連絡)

施設名	住所	予定場所
佐倉市民サービスセンター	宮前3丁目4番地1	ミレニアムセンター佐倉

7. 要援護者施設

施設名	
千成学園 千成幼稚園	リブドミトリー愛
丸和学園 佐倉城南幼稚園	佐倉ゆうゆうの里
藤学園 慈光幼稚園	佐倉厚生園/佐倉白翠園
佐倉市立佐倉幼稚園	ちとせ小町
内郷学童保育所	さくら苑
佐倉学童保育所	佐倉ホワイエ
佐倉東学童保育所	シニアホームリブメドー佐倉
佐倉保育園	ロイヤルレジデンス佐倉
にじいろ保育園佐倉	佐倉市よもぎの園
白銀小児童クラブ	かぶらぎワークセンター
佐倉東保育園/佐倉老幼の館	生活クラブ風の村とんぼ舎さくら

8. 医療機関

施設名	
桜皮フ科クリニック	佐倉厚生園
佐倉中央病院	内田医院
黒須整形外科	三輪整形外科
石川眼科医院	白銀クリニック
すげのやクリニック	ウインドミルクリニック
長谷川内科	木村医院
はなわ眼科	佐藤内科
さくら風の村訪問診療所	佐倉順天堂医院
岡谷医院	
奈良耳鼻咽喉科医院	

9. 消防・警察

種類	施設名
消防署・分署	消防本部
	佐倉消防署
消防団	第一分団
警察	京成佐倉駅前交番

10. 非常用給水施設

施設名	住所

11. 自主防災組織

※平成25年2月末時点

組織数	加入世帯数
14	4,453

12. その他防災施設

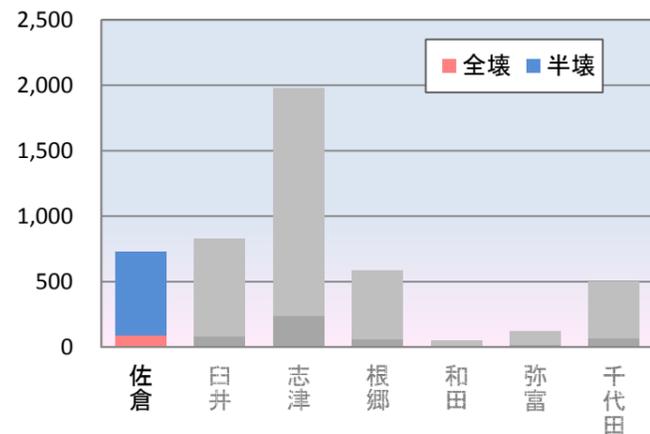
種類	地区内	市全域
防災行政無線(同報系)	23箇所	99箇所
ヘリコプター臨時離発着場	5箇所	17箇所
消防水利	180箇所	1,033箇所
防災井戸	9箇所	42箇所

13. 各種災害被害想定結果

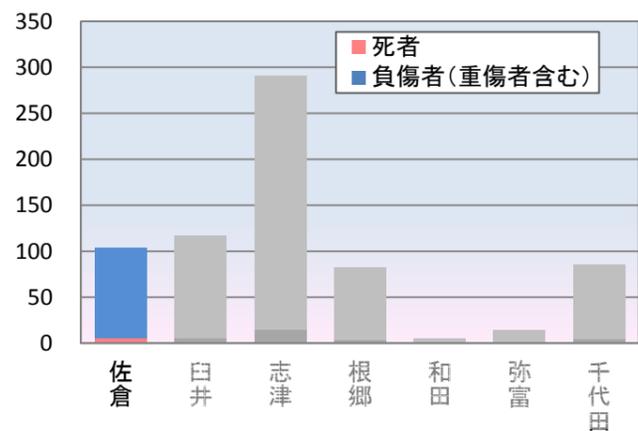
被害想定項目	被害数値 (当該地区)	被害数値 (市全域)
建物被害【全壊】	90 棟	563 棟
建物被害【半壊】	637 棟	4,231 棟
死者	6 人	35 人
負傷者(重傷者含む)	98 人	664 人
避難人口	5,519 人	33,006 人
避難所生活者数	3,587 人	21,454 人

※地震被害の想定地震は「東京湾北部地震(M7.3)」です。

想定される地震被害(全壊棟数・半壊棟数)



想定される人的被害(死者・負傷者(重傷者含む))

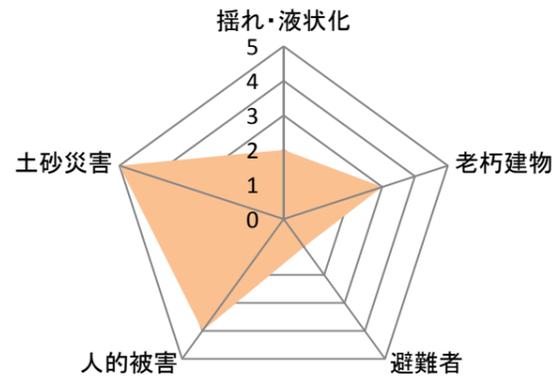


14. 土砂災害危険箇所等 ※平成25年3月時点

種類	地区内	市全域
土砂災害警戒・特別警戒区域	31箇所 ・30箇所	60箇所 ・58箇所
土砂災害危険箇所	79箇所	188箇所

15. 各種災害の評価

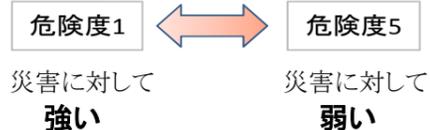
評価項目	数値	危険度
揺れ・液状化による建物全半壊率	7.1%	2
老朽建物密集度 昭和55年以前の木造建物の密集度	151棟/km ²	3
避難充足率 屋内収容人数合計/避難所生活者数	170%	1
人的被害 死者・負傷者(重傷者含む)の合計	104人	4
土砂災害の影響を受ける可能性のある建物戸数	682戸	5



■表・グラフの見方

被害想定調査の主要な結果にもとづいて各項目ごとに地区の災害特性を順位付けしたものです。「1」が災害に対して最も強く、「5」が最も弱いことを表しています。グラフの五角形の面積が広いほど、地域が総合的に「災害に弱い」ことを示しています。

■地区の災害に対する強さ

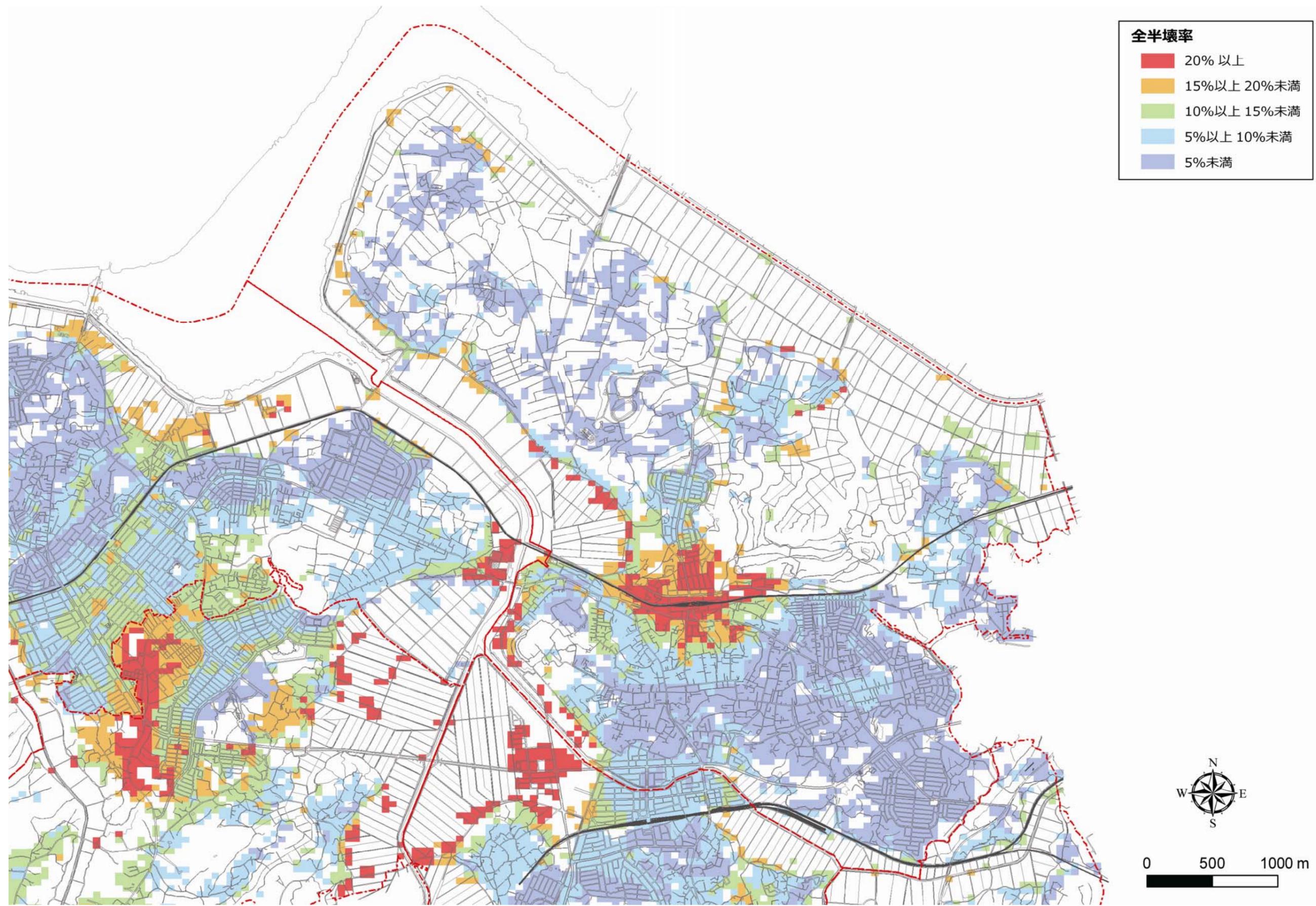


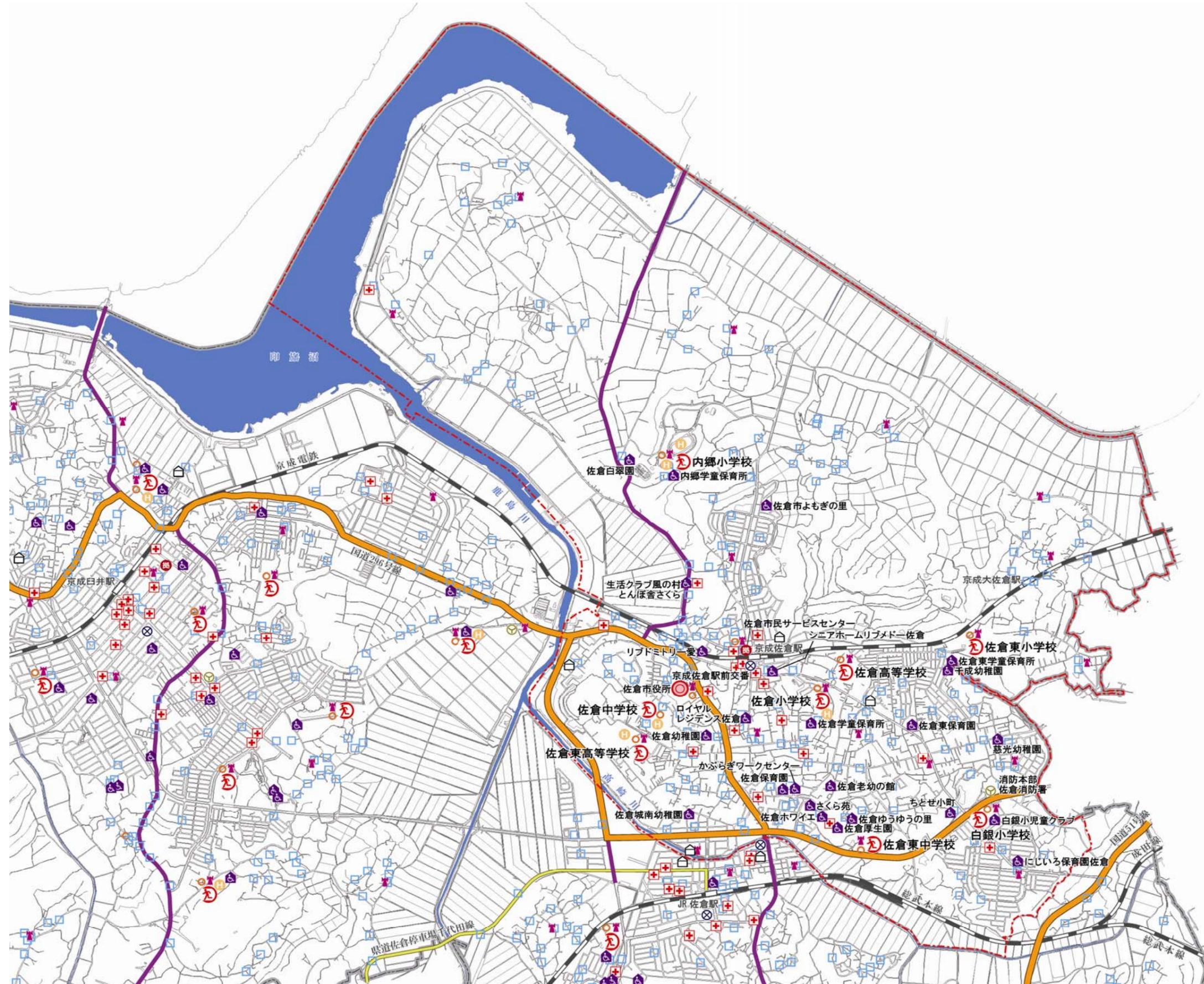
16. 防災上の課題

地震災害	東京湾北部地震が発生した場合、区域の揺れは震度5強から6弱と予測される。予測される建物全半壊率は7.1%と、市全体の割合よりも小さい。町丁目別では、栄町および宮前3丁目においてやや高い想定となっている。
土砂災害	土砂災害危険箇所等が地区内に計79箇所(うち土砂災害警戒区域が31箇所、特別警戒区域が30箇所)指定されており、7地区中で1番多い計682戸において土砂災害の影響を受ける危険性がある。がけ地周辺の住家は大雨・長雨時の崖崩れに対して警戒が必要である。
避難環境	地区内の人口の12.0%にあたる3,587人の避難所生活者が発生すると予測される。また、本地区は酒々井町と隣接しており、災害時には本地区の避難施設に市域を超えて避難してくる可能性があるほか、帰宅困難者の徒歩通過により、避難所等の対応に支障をきたす可能性がある。

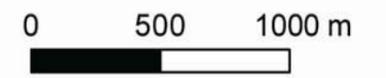
17. 防災対策の方向性

既存建築物の耐震性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■既存建築物の簡易耐震診断の啓発 新耐震基準以前に建築された建築物の住民・所有者に対して、簡易耐震診断を実施するように啓発する。 ■既存建築物の耐震診断・改修の補助 簡易耐震診断の結果から、必要に応じ、耐震改修費助成等による耐震診断・改修を促進する。
土砂災害に対する警戒・避難体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■崖崩れに対する警戒・早期避難体制の整備 降雨時の気象予警報・雨量情報を把握しながら、早期の警戒活動や避難勧告・指示の判断を行う体制を整備する。 ■防災マップ等による住民への周知 警戒区域周辺の住民が土砂災害の危険性を認識し、早めの自主避難を行うことができるように、防災マップ等による知識の普及・啓発を図る。
避難体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■避難支援体制の整備 災害時要援護者に対し、関係機関等と連携し、正確な情報を伝達し、優先的に避難誘導する体制を整える。 ■防災・減災意識の高揚 大規模地震災害によるり災者を抑制するためには、住宅及び地盤の耐震化が重要であることを住民に教育・啓発し、防災・減災意識の高揚を図る。 また、ライフラインの途絶等に備え、家庭での水・食料や簡易トイレ等の備蓄を促進する。

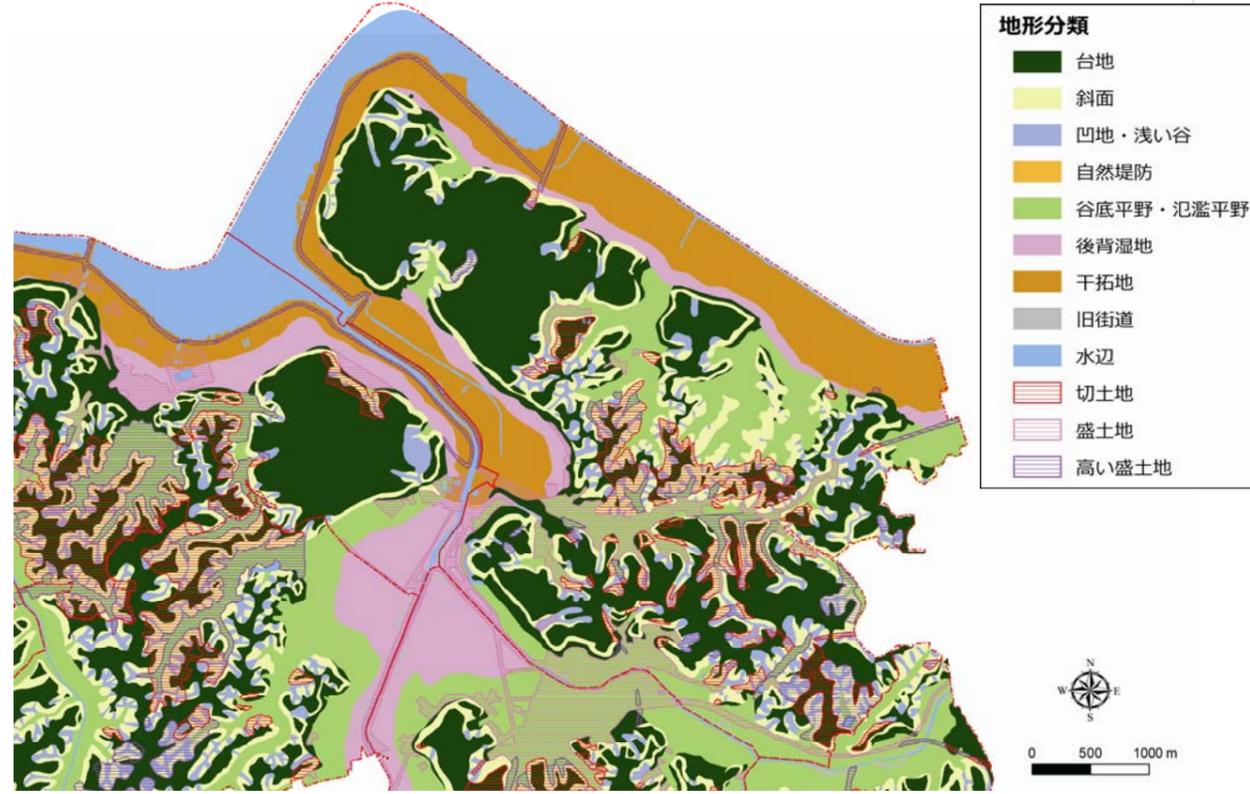




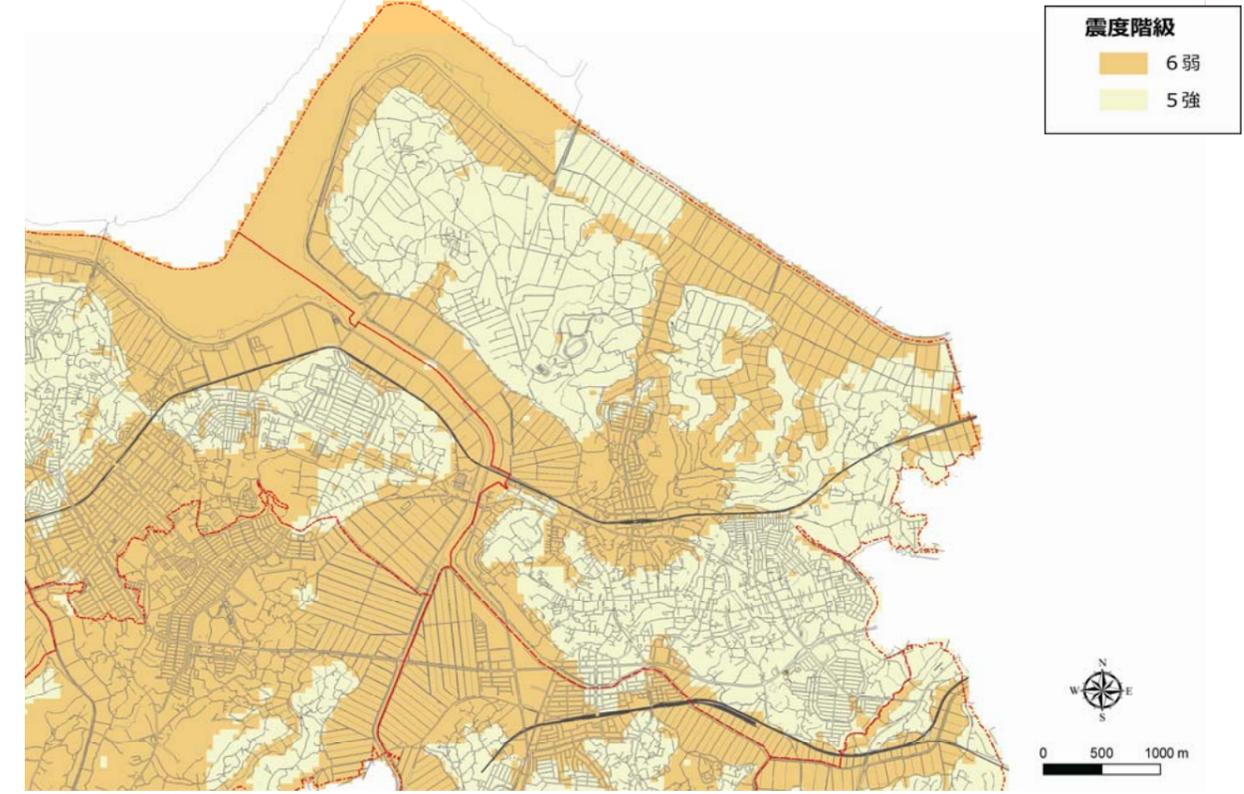
- 防災関連施設**
- 広域避難場所・避難所
 - 支部 (地区連絡)
 - 災害時要援護者施設
 - 市役所
 - 消防署・出張所
 - 警察署・交番・駐在所
 - 水防倉庫
 - 非常用給水施設
 - 防災行政無線 (スピーカー)
 - ヘリ臨時発着場
 - 医療施設
- 消防水利**
- 防火水槽
 - 防災井戸
- 緊急輸送道路**
- 高速道路
 - 国道
 - 主要地方道路
 - 一般県道



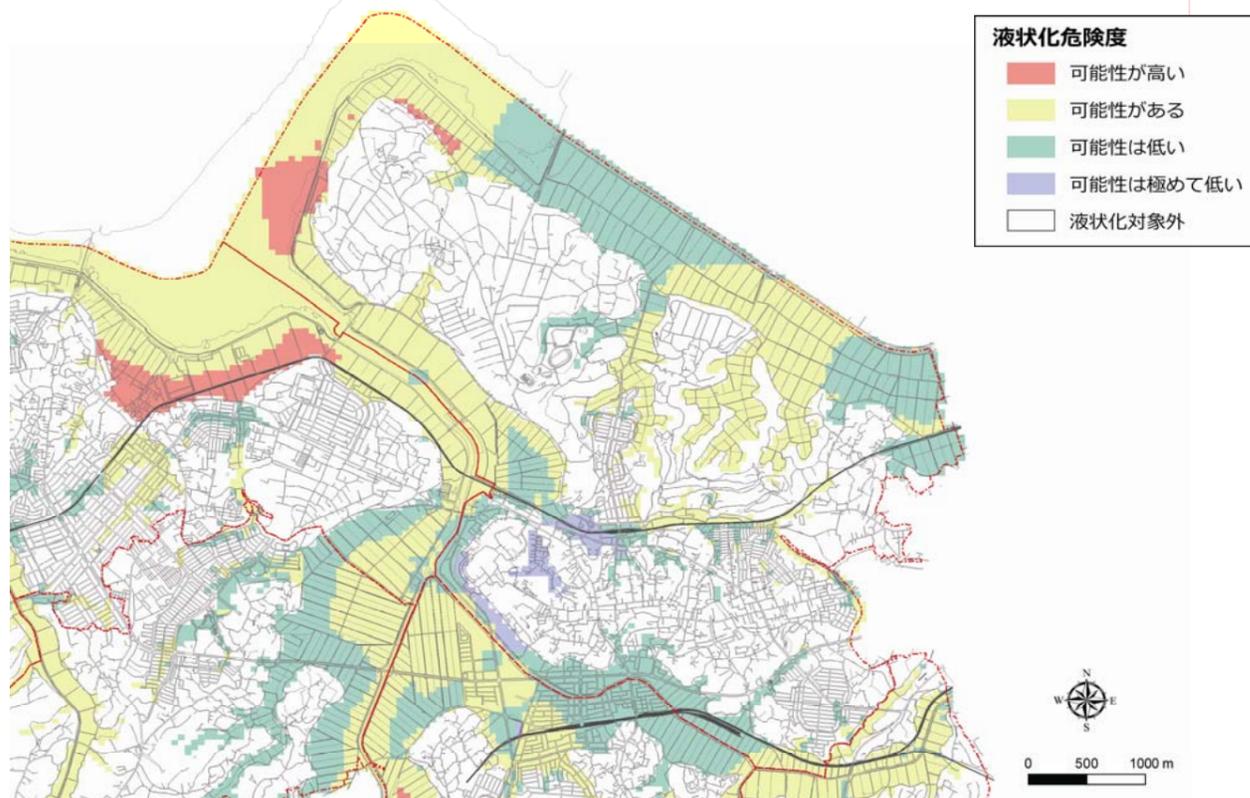
地形分類



地震動危険度



液状化危険度



土砂災害

